

令和3年度行政事業レビューシート (人事院)

事業名	国家公務員の職務に係る倫理の保持			担当部局庁	国家公務員倫理審査会事務局	作成責任者			
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	国家公務員倫理審査会事務局	首席参事官 岸本 康雄			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国家公務員法第3条の2、国家公務員倫理法第11条			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	職員の仕事執行の公正さに対する国民の疑惑や不信感を招くような行為の防止を図り、公務に対する国民の信頼を確保する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	倫理法、倫理規程の適正な運用を確保し、国家公務員の倫理を保持するため、国家公務員倫理法に基づき、国家公務員倫理審査会が設けられた。国家公務員倫理審査会では、①倫理制度の周知、徹底、広報活動、②倫理の保持のための研修の企画調整、実施、③倫理制度に関する意見聴取、④倫理法に基づく職員からの各種報告書の審査、⑤倫理法等違反の疑いがある場合の調査・懲戒の手の実施、懲戒処分の承認などを実施している。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	10	11	11	11	28		
		補正予算	0	0	0	0			
		前年度から繰越し	0	0	0	0			
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0			
		予備費等	0	0	0	0			
		計	10	11	11	11	28		
	執行額	9	10	8					
	執行率(%)	90%	91%	73%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	90%	91%	73%						
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	庁費	7.4	24.7	(庁費) 職員に対し、倫理法の趣旨の一層の徹底、公務員倫理に対する理解の増進をはかるため、新たにWeb配信による有識者講演を実施するため。 また、倫理法における利害関係者に倫理法の理解の促進をはかるため、関連する民間企業等に対し、事業者の立場から見た国家公務員との接触ルールについて記載した資料を配付を行うため。					
	職員旅費	2	2.2						
	諸謝金	0.9	1.1						
	講師等旅費	0.2	0.4						
	証人等旅費	0.05	0.05						
	計	11	28						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	国家公務員の倫理感について、肯定的な見方をする国民の割合が6割となるようにする。	市民アンケートにおける調査結果(国家公務員の倫理感が高い、又は、全体として倫理感が高いが一部低い者もいると肯定的な見方をする者の割合)	成果実績	%	50.7	51.0	48.3		
			目標値	%	60	60	60		
			達成度	%	84.5	85.0	80.5		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	公務員倫理に関する研修等の受講について、前回の受講から3年以内に受講したとする職員の割合を95%(30年度までは90%)以上とする。	職員アンケートにおける調査結果(研修の受講間隔が、1年未満、又は、1年以上3年未満の職員の割合)	成果実績	%	92.5	94.1	94.2		
			目標値	%	90	95	95		
			達成度	%	102.8	99.1	99.2		
	根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-							

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	倫理制度説明会(倫理審査会事務局実施)受講者数	活動実績	当初見込み	人	539	496	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	倫理審査会が主催した講演等への参加者数	活動実績	人	486	679	700		
		当初見込み	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	調査開始事案件数	活動実績	件	18	14	11		
		当初見込み	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	処分等件数	活動実績	件	16	14	9		
		当初見込み	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額/(説明会受講者数+講演等参加者数)	単位当たり コスト	円	8,780	8,511	11,429		
		計算式	百万円/人	9/1025	10/1175	8/700		

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	公務に対する国民の信頼を確保することを目的として、国家公務員倫理法が制定され、国家公務員倫理審査会にその事務の実施が委ねられたもの。 国家公務員の職務に係る倫理の保持は、国の行政事務を国民の信頼の下、適正に遂行するための基盤であり、法律に基づく事務として国が自ら行うことが必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	国家公務員の職務に係る倫理の保持に関する様々な施策(事業)を行っているが、事業を行うに当たり、必要性の有無を精査し、厳選して行っている。 なお、事業の実施に当たり、高額な契約金額となると考えられるものは一般競争入札により行い、低額な契約金額となると考えられるものについては複数の業者から見積書を取るなどして、適正な契約が行えるように留意している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○			
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	職員の倫理意識向上のためには、研修・啓発活動が重要である。このため、倫理教本を新規採用者等に配付することによって、倫理法、倫理規程の周知と徹底を図るとともに、各種の研修教材等を作成・配付して、各府省等における定期的・計画的な倫理研修の実施の支援を行っており、職員へのアンケートでは、各種教材の作成が有益であるとの回答が多く、成果物等は十分に活用されている。 また、倫理セミナーは、管区機関の集まる地方都市を中心に4カ所で開催し、地方における啓発活動に資しているところであるが、令和2年度においてはコロナ禍により、開催できなかった。 なお、倫理法違反に関する調査等の経費は、事案の内容及次第で実施しなければならないことから、一定の予算を確保する必要があると考えている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・ 改善結果	点検結果			
	改善の 方向性			

外部有識者の所見

※ 外部有識者による点検の対象外の事業

行政事業レビュー・調達改善推進チームの所見

一部の内容改善

国家公務員倫理についてより周知するため、公務外への新たな働きかけの導入を含めて、引き続き効果的・効率的な事業の検討・実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に適切に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

公務外への新たな働きかけの導入を含めて、効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに、執行実績に見合う予算計上となるよう努める。

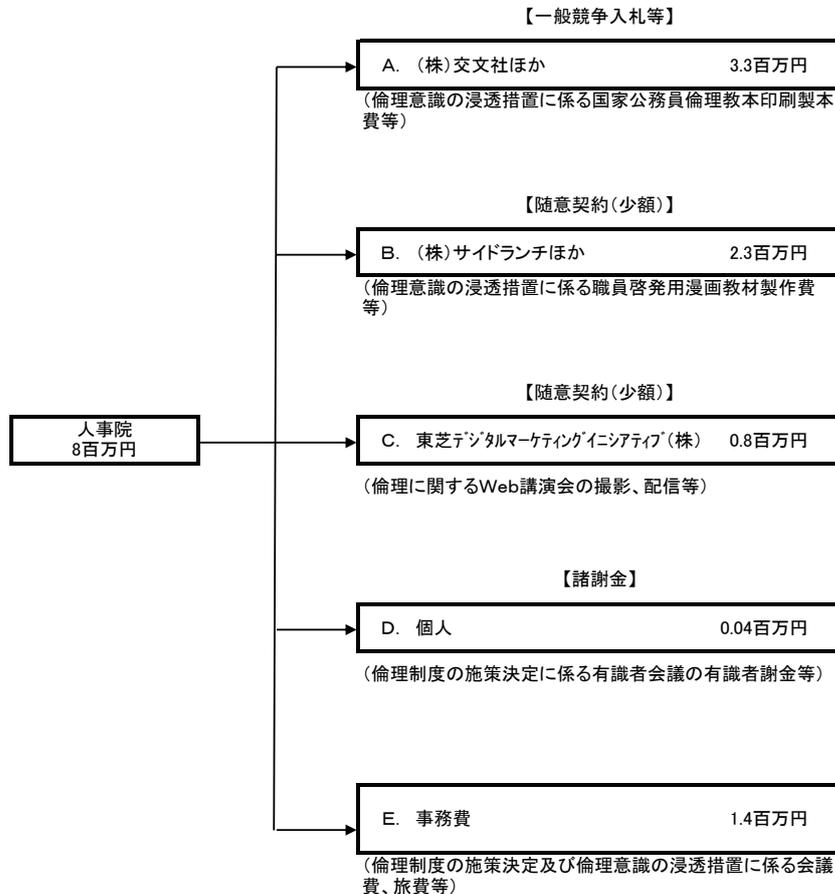
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	6
平成26年度	6	平成27年度	6	平成28年度	6	平成29年度	6
平成30年度	7	令和元年度	7	令和2年度	7		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.(株)交文社			B.(株)サイドランチ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	印刷製本費	国家公務員倫理教本ほか印刷代	2.0	雑役務費	職員啓発用漫画教材の作成	0.8
	計		2.0	計		0.8
	C.東芝デジタルマーケティングイニシアティブ(株)			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	借料及び損料	倫理月間における公務員倫理に関する講演会におけるスタジオ借料等	0.8			
	計		0.8	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)交文社	3010001002611	国家公務員倫理教本ほか印刷代	2.0	一般競争契約 (最低価格)	4		
2	(株)ライトハウス	1120101058222	倫理月間用ホスター印刷代	0.5	随意契約 (少額)			
3	(株)ワーナー	3040001008060	倫理保持のためのルール (増刷)	0.4	随意契約 (少額)			
4	(株)エムア	9050001026329	事業者用リーフレット	0.2	随意契約 (少額)			
5	(株)アカマ印刷	3250001007108	事業者カード	0.1	随意契約 (少額)			

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)サイドランチ	1010001114053	職員啓発用漫画教材の作成	0.8	随意契約 (少額)			
2	(株)エンターオン	0101050130923	ケーススタディ用研修教材 DVDの作成	0.4	随意契約 (少額)			
3	インタラクティブテクノロジー(株)	2010001037105	一般職員用自習研修教材 のデザイン修整・焼付け等 業務	0.4	随意契約 (少額)			
4	(株)テクノプロ・スマイル	0301040170893	職員アンケート調査集計作 業等	0.40	随意契約 (少額)			
5	(株)NTTコムオンラインマーケティングソリューション	4013301021701	市民アンケート(WEB調査) 実施費	0.30	随意契約 (少額)			
6	(株)天賞堂	9010001050794	倫理月間表彰状筆耕	0.03	随意契約 (少額)			

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東芝デジタルマーケティングイニシアティブ(株)	40104010992334	倫理月間におけるWEB有識者講演の撮影及び配信業務料	0.8	随意契約 (少額)			

